

春ニンジン

山武経済センター 営農指導員 山本 匠

農作業



テクニカルダイアリー



スイカ

芝山経済センター 営農指導員 福岡 龍也

太物の大幅な増加は、単純にその等級が安価になるだけでなく、それらを出荷する際のコスト増加にもつながります。また、収穫適期を逃したことに伴い病害根や裂根が発生し、正比率の低下や売り上げにも影響が出ます。

これらの対策として、今回はJA山武郡市人参部会と関係機関と共同で取り組んでいる試作品種についてご紹介します。

今シーズンの春ニンジンは好天が比較的長く続いたことにより、昨シーズンのような天候不順によるしみ腐れ症の被害は、ほとんど見受けられませんでした。その結果、収量は平均で10%当たり448ケースと、前年比で7%上昇しました。正比率の上昇等、その他の要因も影響し、10%当たりの売上も平均12%向上しました。

一方で、規格発生比率は前年と比較して、2LからMまでの発生比率が約2割も増加しました。

令和5年産の振り返り

●**低温期における交配管理**
4月上旬～中旬のトンネル栽培での交配は寒暖差が激しく、栽培管理が特に難しい時期となります。低温下では着果率が著しく低下してしまうため、交配前(2週間前)の温度管理が重要となります。トンネルを早めに閉める等、適切な温度管理に努めましょう。

●**交配**
近年はミツバチによる交配が主流です。ミツバチは過湿状態を嫌い、雨天時や低温の場合には動きが鈍り、良質な雌花や雄花があっても活動しないことがあります。この場合、人の手による交配が必要となります。また、低温期の交配では「人工花粉」を用いることも重要です。人工花粉には「すいかふん」等があります。

次年度対策

●**病害虫防除**
今年はシーズンを通して降雨が少なく、多湿の圃場で発生しやすい褐色腐敗病等は、例年と比較して少ない年となりました。一方で害虫は、アザミウマ類やハダニ類・アブラムシ類の発生が見られました。

以前はうどんこ病(写真①)による被害が多くありましたが、近年は生産者における防除が徹底されていることや耐病性品種(祭りばやしUT等)の導入等により、発生は比較的小さい状況でした。しかし、うどんこ病は一度発生してしまうと根絶が難しい病気です。表①を参考に、育苗期などの生育初期から定期的な防除を行い、発生前の予防に努めましょう。特に購入苗は、うどんこ病

令和5年産の振り返り

態を嫌い、雨天時や低温の場合には動きが鈍り、良質な雌花や雄花があっても活動しないことがあります。この場合、人の手による交配が必要となります。また、低温期の交配では「人工花粉」を用いることも重要です。人工花粉には「すいかふん」等があります。



写真② (株)トーホクの「アロマ809」と「アロマ810」

アロマ810・アロマ809(写真②)は、JA管内で試験的に作付けされている品種の中では比較的しみ腐れ症に強く、根色の良い品種です。根形や大きさが揃いやすいという特徴があり、晩抽性もあることから、収穫・調整作業の効率が上がることが見込まれます。慣行品種よりも根長はやや長めです。

推奨播種時期
1月中旬～2月下旬

アロマ810・アロマ809 (株)トーホク



写真③ (株)フジシードの「翔彩」と「彩極」

彩極は、JA管内でもなじみのある彩誉・翔彩といったフジイシードの品種を、遅播き・遅獲りに改良した品種です。根形は尻詰まりが良く、彩誉と遜色ない見た目で、翔彩よりも晩抽性に優れています(写真③)。

一番の特徴は地上部がコンパクトで立性に優れることから、過繁茂になりやすい遅播き栽培でも機械収穫しやすい

彩極 (株)フジシード

その他、細かい特徴等についてはお近くの営農・経済センターまでお問い合わせください。

推奨播種時期
1月下旬～3月上旬

病の発生が目に見えなくても定植前に必ず殺菌剤を散布してください。

近年、後作のトマトにおいて、「ナジラミ」類が媒介するウイルス性の黄化葉巻病の発生が拡大しています。スイカの収穫後の残渣や圃場周辺の雑草は早めに片付けましょう。



写真① スイカのうどんこ病

営農なんでも相談室
皆さまの営農に関するお悩みを、JAの総合事業の力で解決！
栽培管理、コスト削減、規模拡大、求人・雇用のことなど、お気軽にご相談ください。

JA山武郡市 営農なんでも相談室
(本所 営農部内)

☎0120-972-860

表① スイカに登録のある薬剤一覧

薬剤名	適用病害虫						希釈倍率	使用時期	使用回数
	菌核病	うどんこ病	つる枯れ病	アザミウマ類	アブラムシ類	ハダニ類			
スミレックス水和剤	●		●				1000～2000倍	収穫7日前まで	5回以内
ロブラール水和剤	●		●				1000倍	収穫前日まで	4回以内
ベルコートフロアブル	●	●	●				1000倍	収穫前日まで	4回以内
アフエットフロアブル	●	●	●				2000倍	収穫前日まで	3回以内
モベントフロアブル				●	●	●	2000倍	収穫前日まで	3回以内
モスピラン顆粒水溶液				●	●		2000～4000倍	収穫3日前まで	3回以内
ダニオーテフロアブル						●	2000倍	収穫前日まで	2回以内